

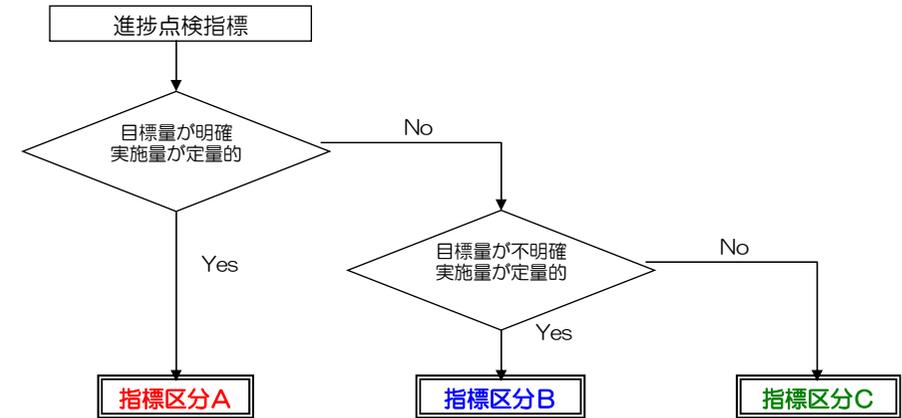
## 進捗の表し方について（指標区分）

### ■ 進捗点検指標の区分

進捗点検の指標は、その属性によりA、B、Cの3つに区分される。  
以下では、このうち指標区分Aの指標の進捗点検の入力作業について手順を説明する。

進捗点検指標の指標区分

指標区分	指標区分の考え方	進捗の表し方
A	実施する目標量が明確で、実施量が定量的に表されるもの。	進捗率 (%) (実施量 / 目標量)
B	実施する目標量が不明確であるが、実施量が定量的に表されるもの。	実施量
C	実施する目標量が不明確で、実施量が定性的に表されるもの。	定性的



### ■ 指標区分A （例）治水-6 堤防整備進捗率

$$c. \text{堤防整備進捗率} (\%) = \frac{a. \text{堤防整備実施量} (m)}{b. \text{堤防整備目標量} (m)}$$

$$a. \text{堤防整備実施量} = \text{過年度までの実施量} (m) + \text{当該年度実施量} (m)$$

$$\text{進捗率} \underline{39\%} = (700m(H25) + 420m(H26)) / 2,890m (\text{全体})$$

### ■ 指標区分B （例）利水-1 水利権の更新・変更に関する許可実施量（件）

$$\text{水利権許可実施量} (件) = \text{過年度までの実施量} (件) + \text{当該年度実施量} (件)$$

$$\text{実施量} \underline{8件} = 5件(H25) + 3件(H26)$$

### ■ 指標区分C （例）管理-48 防災訓練

実施の有無を計上する。

「平成25年度、平成26年度 実施」